

出雲大社近くの海岸で水難事故相次ぐ…子ども2人を助けようとした父親が死亡(島根・出雲市)

7/17(月) 18:59 [配信](#)



出雲市大社町の稲佐の浜で16日と17日、水難事故が相次ぎました。

17日は幸い無事救助されましたが、16日は自身の子供2人を助けようとした父親が溺れ、死亡しました。死亡したのは雲南市木次町の穂垣裕久さん(45)です。穂垣さんは16日午後3時20分ごろ、出雲市の「稲佐の浜」で妻とともに小学生の長女と長男と海水浴をしていたところ、流されて海上に浮いている2人を見つけ、救助に向かいました。その後3人の姿が見えなくなったため、妻が近くにいた男性2人に助けを求め、その男性たちが約1時間後に海岸から35メートルほど沖で3人を発見し救助しました。3人は市内の病院に搬送されましたが、穂垣さんは死亡が確認されました。一方、2人の子どもは、浮いていた父親の穂垣さんの上に乗った状態で救助され、命に別状はないということです。この事故現場の近くで、17日午前9時30分ごろ、海水浴に来ていた出雲市内の会社員の男性とその娘の小学生が沖合に流される事故がありました。2人は自力で近くの波消しブロックまで泳ぎ着いたところを、通報で駆け付けた消防隊員が発見し無事救助されました。2人は「離岸流」に巻き込まれたと見られています。村上アナウンサー：「水難事故があった稲佐の浜です。高い波が連続して打ち寄せています。現在は管理団体が解散したため海水浴場として開設していません」 「稲佐の浜・海水浴場」は、近くの住民が中心となってつくる管理団体が、監視員を設置するなどの運営を続けていましたが、メンバーの高齢化や利用客が年々減少したため、約8年前に解散。そのため現在は監視員を置いていません。元管理団体メンバー 椿順一さん：「浜で泳ぐ人がいなくなって商売が成り立たなくなったから。海水浴場で成り立つことができなくなって」 こうした管理者を置いていない主な海水浴場は、島根県内では稲佐の浜のほか、大田市の鳥井と琴ヶ浜。また鳥取県内では、鳥取市の鳥取砂丘、白兔海岸、湯梨浜町の「うの海水浴場」、琴浦町の八橋海岸の4か所です。管理者を置いていない海岸で遊泳禁止の措置はとられていませんが、あくまでも自己責任で利用することが前提となるため、より注意が重要なだけに、事前に管理体制の有無など安全面の確認が必要です。